

令和5年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立城北中学校

1 自己評価書

教育目標		志高く瞳きらめく生徒の育成				
基本方針		自他の成長を願う教師集団が、家庭・地域と連携・協働したコミュニティ・スクールを推進し、思いやりの心を持って明るく組織的に取り組むことで、生徒の健全育成を図る。				
本年度重点目標		(1) 確かな学力の定着 (2) 豊かな心の育成 (3) 瞳きらめく活動の充実				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成		
			・具体的な対策の実施			
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート	A	B
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・保護者アンケート	C	
				・児童生徒アンケート	B	
	③	家庭学習の充実	一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	B	
				・児童生徒アンケート	A	
	④	読書活動の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	B	C
				・保護者アンケート	C	
				・児童生徒アンケート	C	
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・児童生徒アンケート	B	
	<p>(成果と課題)</p> <p>○週1回、朝学習でeライブラリを行うことで、授業中の隙間時間や家庭学習でも個々に合わせてeライブラリを活用し、基礎・基本の定着に努めたり、応用問題に取り組んだりする生徒がおり、個に応じた学びとなっている。</p> <p>○各教科で毎時間学習課題を提示しているため、ねらいが明確になり、生徒にとって分かる授業につながっている。</p> <p>○家庭学習の習慣が身に付いていないことが課題であり、家庭との連携を図る必要がある。</p> <p>○3年生は地域の協力を得て、職場体験学習を実施することができた。実際に職業体験をすることで、働くことの意義や魅力を感じ、自分の将来について考える良い機会となった。</p> <p>○全学年とも地域で学んだことをレポート等にまとめ、文化祭で展示発表やステージ発表を行うことができた。</p>					
<p>(改善策等)</p> <p>○期末テスト前の学習クラスマッチは、必ずテストに出ると分かっている問題のため、学力が低位の生徒にとっての家庭学習意欲向上につながったと考える。今後も継続して実施していきたい。</p> <p>○家庭での学習習慣の確立に向けて家庭学習に関する内容を学級通信等で発信することで、家庭との協働を図っていく。</p> <p>○どの学年も地域の協力なしでは実施できないので、今後も地域に協力を求めていく。また、地域の人や物とどのような出会いをするか、自分たちの活動が地域や社会にどうつながるか、多角的な視点を持つように支援していく。</p>						

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	B	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	B	
				・児童生徒アンケート	A	
		いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。		・教師アンケート	A	A
				・児童生徒アンケート	A	
				・保護者アンケート	B	
	③ 基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	・教師アンケート	A	B	
			・児童生徒アンケート	B		
			・保護者アンケート	C		
	④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	・教師アンケート	A	B	
			・児童アンケート	C		
		自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	B		
			・児童アンケート	B		
<p>(成果と課題)</p> <p>○靴下の校則変更に向けた試行期間を実施した2学期であったが、全員がその規定の範囲の中で考えて選択することができており、校則を守ることを心掛けて生活できている生徒が多いと感じた。</p> <p>○不要物の持ち込みについて指導する機会があった。今後も、家庭と連携して対応していきたい。</p> <p>○12月に実施した心の栄養アンケートでは、仲間感である、人と協力することができるが87%(7月86%)、そのままの自分が好きが72%(7月73%)だった。体育祭・文化祭などの学校行事から、協力の大切さを学び、一人一人がそれぞれの自分の力を出したり、表現できたりしたことで、自分の存在価値を認めてもらえたが大きいと考える。</p>						
<p>(改善策等)</p> <p>○不要物の持ち込みや問題行動に対しては、組織的な対応と報告・連絡・相談・記録・確認を行い、保護者との協力を密にし、教員と保護者が同じ意識で子供の問題行動に対応するように心掛けたい。</p> <p>○毎月実施している生活習慣チェックから、学校が楽しくないと答える生徒が数名いる。一見、明るく問題なさそうに見える生徒もいるので、今後も情報共有を行い、日常の学校生活から勇気づけにつながる言葉掛けを全職員がすることで、生徒との良好な関係性を築きたい。この調査を継続して実施しているからこそ、生徒の変容が分かり、生徒理解につながるので、毎月実施をしていきたい。</p>						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス	仕事のやりがい重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、 <u>教職員の意識改革</u> に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A A	A
	②	働きやすい環境づくり	新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行後の業務改善に向けて、教育活動の回復や精選に慣れにとられることなく取り組んだ。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート ・教師アンケート	A A	
	③	他の教職員のサポート体制の充実	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○期末テスト最終日を4時間授業、ノ一部活動としたり、繁忙期を短縮授業とすることで成績処理に携わる時間を確保することができた。</p> <p>○体育祭や文化祭の保護者受付をなくすことで、PTA役員との打ち合わせ時間等を取ることなく行事を実施することができ、PTA担当教員の勤務時間外の業務をなくすことができた。</p> <p>○ノ一部活動日を設定し、計画的な部活動運営を行うことができた。</p> <p>○行事担当教員の負担が大きく、時間外勤務が増加した。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○ノ一残業日の日を設定し、管理職や学年主任等による積極的な声掛けを行う。</p> <p>○行事担当者を複数配置することにより、担当者の業務内容の平準化に努める。</p>						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	A	A
			学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A /	
			②	情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	
③	来校・相談体制	保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A B /	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○公民館行事に生徒が参加した様子を校長だよりやホームページで発信することで、学校運営協議会の取組を保護者に理解してもらうことができた。</p> <p>○毎日のホームページの更新や学級通信のタイムリーな発信により、学校や学級の様子をリアルタイムに伝えることができた。</p> <p>○事務室と連携しながら保護者や来校者に対して誠実な対応ができた。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○校長だよりやホームページ等で、今後も学校運営協議会を含めた情報発信に努めていく。</p> <p>○今以上に事務室と連携を図り、来校しやすい雰囲気づくりに取り組んでいく。</p>						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満